

下豊富
福祉だより

第26号
平成28年9月1日
発行
下豊富福祉推進協議会

ごあいさつ



下豊富福祉推進協議会
会長 **荒川 修**

お暑うござい
ます。

今、この原稿
を書いている日
時はリオネジャ
ネイロ オリン

ピックの最中で、この福祉だよりを
ご覧いただいている頃はオリンピック
クも終わってしまつてパラリンピック
クが始まるうとしている頃かもしれ
ません。

日本選手団の活躍に心を踊らせ声
援を送っているところです。事前の
話では会場準備が間に合うだろうか
とか治安が悪く心配だなどというい
ろな憶測が飛び交っていました。

いざ始まつてみると多少の問題や多
少の治安の問題もあるようですが、
『国民性』という国柄で納得できる
ようにも思えます。

南の大きな大陸での大きな事柄に
『間に合えばいいじゃないか』『自然
と共存して共に暮らしていく』とお
らかな考えの元、『他の国とは陸統
きだからいつ攻めてこられるかわか
らない』緊張感を常に持ちながら太
陽神に心のよりどころを求め数千年
の歴史を刻んできた国なのです。

日本人も多く入植し、現在では幾
多の苦勞を経て活躍をしていると聞
きます。

『なじむ』という理解が私達には

あります。相手の気持ちもわかり、
こちらの気持ちも伝え、お互いが融
和するという解決方法です。時間が
かかりますが、引くべきは引き、言
うべきは言い、お互いの理解出来合
う所で『ゆずりあう』そんななごや
かな時代にしたいものです。ねえ！
現在、『成和地域包括支援センタ
ー』というむずかしい役所好みの名
前の組織があります。

あるところは上豊富の紫豊館とい
う老人ホームの中にあります。どん
な活動をしているかという年齢を
問わずどんな相談にも乗ってもらえ
るし、住み慣れた地域でその人らし
い生活を継続できるように支援して
くれるところです。

具体的に言うと、高齢になつてい
ろいろな心配事でどうしたらいいの
かわからないとか、隣近所にまでは
相談しにくいことなどの相談に乗っ
てくれるところです。

電話をすれば家まで来て話を聞い
てもらえます。自動車も頼めば普通
の横に宣伝の書いてない車で来てく
れます。普通の知り合いが訪ねてき
たみたい。

私たちは常日頃『何か困ったこと
があれば何でも相談してください』
と呼びかけて来ましたが、簡単に私
達に相談できないこともあると思い
ます。専門家が相談に乗りますので

本当に安心してください。電話番号
は三四一〇五五九です。
これから高齢者がまだまだ増えて
いきます。福知山市も皆様に安心し
て頂けるように様々なサービスを提
供していくようです。困ったことが
あれば、まず自治会長なり、民生委
員に、でも少し相談しにくいことが
あれば成和地域包括支援センターに
お尋ねください。悩み事が少しでも
少なくなればと願っています。



8月6日福祉研修会



8月6日、成和地域公民館で下豊富福祉推進協議会福祉研修会が、64名の各自治会の支部役員、協議会役員等を対象として開催されました。

講師の福知山市社会福祉協議会の、松田ゆかり地域福祉課長から「地域で高齢者を守るために」というテーマでお話しいただきました。

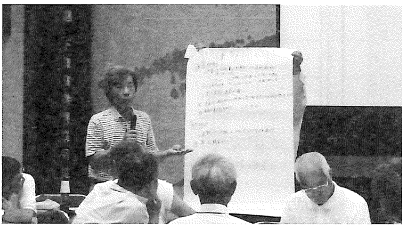
「なぜ見守りが必要なのか」について考えると、高齢者統計では、市全体と同様下豊富地域も人口減と高齢化が進んでいる、一人暮らし高齢者が増加している。家庭では核家族化と少子化が進み、地域では過疎化と人間関係の希薄化が課題となっている。このような課題に対応するためには、住民同士のささあいが必要になってくる。高齢者の異変に気付き、見守りあう地域づくり、さりげなく気づかうことが大切である。と話されました。

そして、「誰もが安心して暮らせる地域づくり」を進めるために、高齢者の見守りの担い手の仕組みづくり、地域住民の認知症への理解が必要となる。地域での福祉活動を進めることで、孤立の防止や高齢者の社会参加の促進、社会コミュニティづくりの促進などが期待される。と説明されました。

説明後、DVDビデオで、いきいきサロンでの活動や配食サービスを通じた見守り等の先進地域の事例を視聴しました。

ビデオ視聴後、研修会参加者を6グループに分けて、「地域で高齢者を守るために」「何が必要なのか考えてみましょう」というテーマで約20分間「ワークショップ」を行ない、各グループから話しあった内容を発表しました。主な内容は、高齢者を孤立化させないために、近所の見守り、サロンの活用、巡回購買車の活用など企業と連携した見守り活動等の意見が出たり、包括支援センターについて一般の人にもっと周知し、研修することが必要でないか。といった意見も出ていました。

講演の後ワークショップを行なうことは初めてで、戸惑いもありましたが、地域でどんな支援ができるかを熱心に話し合いました。最後に松田課長から「人と人のつながりが大切」であることとまとめていただき、大変有意義な研修会となりました。



平成28年度 事業計画

月日	事業名	摘要
4月 4日	役員会	平成27年度事業報告・決算について 平成28年度事業計画及び予算(案)について 総会について その他
4月23日	推進協総会	平成27年度事業報告・決算について 平成28年度事業計画及び予算(案)について その他
6月10日	役員会	福祉研修・福祉だよりの発刊について その他
8月 6日	福祉研修会	講演会「地域ケア会議の取り組みについて」
9月 1日	福祉だより	第25号発行 3,000部発行予定
10月 4日	視察研修	滋賀県愛荘町社会福祉協議会
10月 下旬	心もち訪問	おはぎを作り 一人暮らし高齢者宅訪問 成和コミセンにて調理
11月	小学生との交流	修斉小学校ひめがみっ子集会 修斉小学校体育館にて
11月	ふれあい給食	一人暮らし高齢者ふれあい給食 料理の調製・豊の郷にて
2月	ふれあい給食	一人暮らし高齢者ふれあい給食 料理の調製・豊の郷にて
3月	役員会	各支部活動助成金審議・事業及び合計報告 その他

お知らせ

介護保険制度が変わります。 (新しい総合事業の概要)

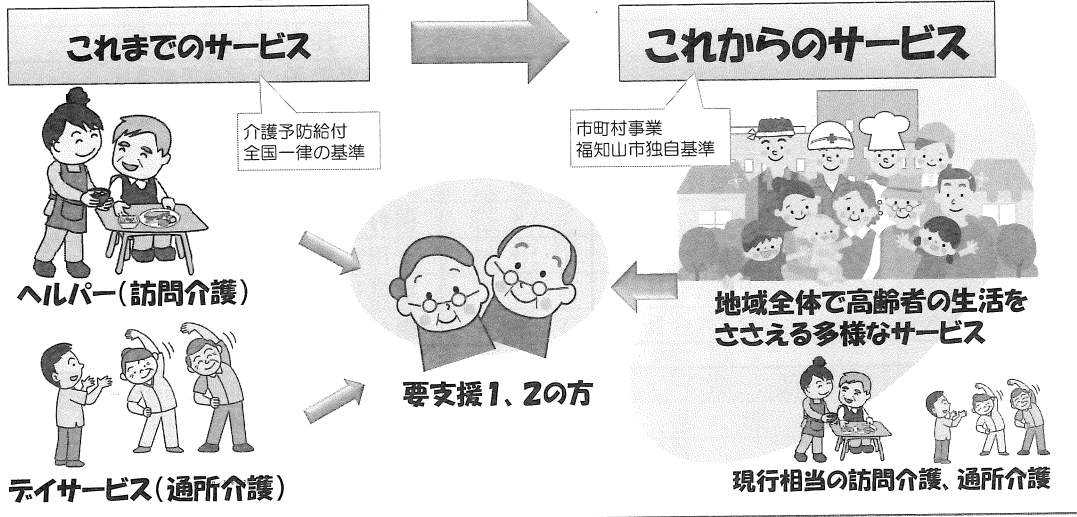
国 平成27年から

福知山市
平成29年から

介護認定(要支援1、2)の方のサービスが変わります。

要支援1、2とは？

介護保険サービスを受けるには介護認定が必要です。要支援1、2は、介護認定の7段階のうち、比較的軽度の方ですが、身の回りのことに何らかの支援が必要です。



要支援1、2の方の介護サービスが変わります。高齢者福祉課提供(総会時説明資料)

福祉研修会資料抜粋

高齢者統計

平成28年7月31日付

人口	高齢者人口	高齢化率	最高(金山)	最低(成仁)	ひとり暮らし老人
79,580人	22,966人	28.86%	55.92%	14.26%	2,617人

高齢者統計(地区別)

平成28年7月31日付

地区	人口	高齢者人口	高齢化率	ひとり暮らし	地区	人口	高齢者人口	高齢化率	ひとり暮らし
惇明	9,215	2,447	26.55%	382	金谷	948	415	43.78%	36
昭和	10,254	2,345	22.87%	247	三岳	557	288	51.71%	49
大正	6,343	1,568	24.72%	237	金山	422	236	55.92%	33
雀部	8,305	1,985	23.90%	203	雲原	267	146	54.68%	23
遷喬	4,838	1,110	22.94%	126	菟原	1,130	491	43.45%	59
成仁	3,886	554	14.26%	36	細見	1,755	683	38.92%	84
佐賀	775	346	44.65%	35	川合	611	318	52.05%	41
庵我	2,208	820	37.14%	102	下夜久野	1,427	696	48.77%	84
下豊富	7,335	1,983	27.03%	157	中夜久野	746	331	44.37%	33
下川口	849	392	46.17%	35	上夜久野	1,443	682	47.26%	76
上豊富	1,818	579	31.85%	49	美河	2,712	1,021	37.65%	121
上六人部	1,080	443	41.02%	54	美鈴	770	363	47.14%	68
中六人部	813	351	43.17%	37	有仁	1,110	528	47.57%	62
下六人部	5,290	1,002	18.94%	82	準世帯	1,113	291	25.68%	3
上川口	1,540	552	35.84%	63	計	79,580	22,966	28.86%	2,617

福知山市社会福祉協議会研修会説明資料 高齢者統計(全市)と高齢者統計(地区別)

あとがき

いつの間にやら日本人の「平均寿命」が世界一となり、男性は八〇歳、女性は八七歳を超えています。高齢化のスピードも世界一となっています。私たちの住んでいる地域の状況を見てみると少子化・高齢化に併せて過疎化により近所付き合ひ、自治会運営等も大きく変化し改革が求められています。

六五歳を過ぎた団塊の世代の人たちもこんなはずではなかったと思うことが多いのではないのでしょうか。六〇歳の退職を機に世話になった地域で恩返しの意味でも役員などをして、あとは次の世代に引き継いでいきたいと考えておられた方も多いのではないのでしょうか。ところが、六五歳は老後どころか地域では現役で働いておられ、自治会運営等の中心となっています。さらに十年、二十年と活躍が期待されているのです。期待に応えるためには「健康寿命」がキーワードとなってきます。平均寿命と健康寿命の間には、男性で約九年、女性で約十三年の差があるそうです。誰もが最後まで、健康で生き活きとした生活を送りたいと思っています。健康寿命を延ばし地域の期待に応えましょう！